



2022 第45回 全国育樹祭
豊かなおおいた ^も森林を育み ^り木と暮らし

基本計画

令和2年3月
大分県

目 次

第1章 全体計画

1	全国育樹祭の概要	2
2	大分県での開催状況	2-3
3	第45回全国育樹祭の開催方針	3-5
4	大会テーマ	6
5	シンボルマーク	6
6	大会ポスター（原画）	6
7	開催概要	7
8	開催場所詳細	8

第2章 運営計画

1	運営体制	9
2	輸送計画	9
3	宿泊計画	9
4	視察	10
5	警備・警護	10
6	救護・衛生	10
7	消防・防災	10
8	参加者サービス	10
9	物産等展示・販売	10
10	記念品等	11
11	昼食	11
12	雨天・荒天時等対応計画	11

第3章 お手入れ行事計画

1	会場の概要	12-13
2	会場整備・設営	13
3	行事参加者	14
4	行事の概要	14

第4章 式典行事計画

1	会場の概要	15
2	会場設営	16
3	式典参加者	17
4	式典行事の概要	18-19
5	会場計画図	20

第5章 併催行事計画

1	育林交流集会	21
2	全国緑の少年団活動発表大会	21

第6章 記念行事計画

1	記念行事	22
---	------	----

第7章 その他

1	懇談会（歓迎レセプション）	23
2	広報・協賛等	23

1 全国育樹祭の概要

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、国土緑化推進機構との共催で行われます。

大会では、全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木について皇族殿下によるお手入れを行うほか、皇族殿下によるお言葉や各種表彰、参加者の育樹活動等の行事が催されます。

2 大分県での開催状況

本県では過去に、全国植樹祭が2回、全国育樹祭が1回、開催されています。

昭和33年に別府市志高湖畔で開催された第9回全国植樹祭は、戦後伐採された森林の早期復旧を目指す大会として、植林意欲を喚起し、拡大造林を推進する契機となりました。

昭和52年、同地が始まりである第1回全国育樹祭は、「植林の時代」から健全な森林を育てるための「育林の時代」への転機を全国に示し、除間伐など保育活動を推進する契機となりました。

平成12年、20世紀最後の2000年には本県2回目となる第51回全国植樹祭が豊後大野市大分県民の森で執り行われ、「21世紀における森林と人との共生」などの方針のもと、森林を愛し、育て、感謝する大会となりました。

第9回全国植樹祭

戦後伐採された森林を復旧するため、「原野造林」のテーマのもと、昭和33年に第9回全国植樹祭が開催されました。

【開催概要】

- テーマ : 原野造林
- 開催日 : 昭和33年4月8日(火)
- 会場 : 大分県別府市(志高湖畔)



▲お植えのご様子

第1回全国育樹祭

第9回全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木への、皇太子同妃両殿下による施肥や各種行事が、第1回全国育樹祭として行われました。

【開催概要】

- 大会テーマ : 豊かなみどりのふるさとづくり
- 開催日 : 昭和52年9月16日(金)
- 参加人数 : 4,000人
- 会場 : 大分県別府市(志高湖畔)



▲お手入れのご様子

第5 1回全国植樹祭

千年紀の変わり目である西暦2000年、本県にとって2度目となる第5 1回全国植樹祭が大分県県民の森 平成森林公園で開催され、天皇皇后両陛下によるブンゴボダイジュ、アカガシ、ボタンザクラ、ブンゴウメ、カツラ、ケヤキのお手植えなどが行われました。

【開催概要】

- 開催テーマ : 2000年 豊かな国の 森づくり
- 開催日 : 平成12年4月23日(日)
- 参加人数 : 12,000人
- 会場 : 大分県県民の森 平成森林公園



▲天皇皇后両陛下によるお手植え

3 第4 5回全国育樹祭の開催方針

現在、先人の努力等により植え、育てられてきた森林の資源は充実し、利用期を迎えている中、本県では、主伐生産性の向上や再造林の省力化、中低層の非住宅の木造化など、森林資源の循環利用の推進に取り組んでいます。

また、継続して森林を守り育てるには、次代の森林づくりを担う人材の育成も大切であることから、県の森林環境税を活用しながら、部局を超えた森林環境教育の取組を進めています。

そこで、このような時代背景のもと「伐って使い・植えて育てる」「次代につながる森林づくり」「森林・林業県おいたをPR」の3つを柱に第4 5回全国育樹祭を開催します。

(1) 伐って使い・植えて育てる

「昭和電工武道スポーツセンター」はスギ無垢乾燥材を屋根構造に使用した施設では国内最大級です。これを式典会場とすることで、県産木材の供給力や木材加工技術の高さをアピールします。

そのほか、本県での木材利用の取組として木堀や、非住宅建物の木造化、また資材運搬のための林業用ドローンなどICT技術等も含めた先端技術を幅広く発信していきます。

(2) 次代につながる森林づくり

子どもたちの年齢層に応じた体系的・継続的な森林・林業教育を推進します。また、県民がより森林・林業に触れ親しみ、身近に感じることのできる機会を提供するため、県内各地での育樹活動等を開催します。

さらに、県民による森林づくり活動の合言葉として「大分県森林憲章」を定め、全国に発信します。

(3) 森林・林業県おおいたをPR

本県の豊かな森林と、古くから盛んに行われ発展してきた林業・木材産業やしいたけ生産の現場、そこで働く人々の姿など、森林・林業県おおいたを全国に紹介していきます。

また、豊かな森林は美しい景観を形成するとともに、さまざまな農林水産物も育んできました。そこで、大分の森林が生んだ世界農業遺産等の地域資源や、しいたけなどの豊かな特産品も全国にPRします。

今大会を契機に、次代を担う子どもたちに森林・林業への興味・関心を促し、将来の林業・木材産業を担い支える人材の育成を進めます。加えて、資源循環型の森林づくりの環を、更に県民総参加で広げます。

第1章 全体計画

全国育樹祭とは

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、国土緑化推進機構との共催で行われます。

第9回全国植樹祭（昭和33年）

第1回全国育樹祭（昭和52年）

第51回全国植樹祭（平成12年）

第45回全国育樹祭（令和4年）

<開催のポイント>

伐って使い・植えて育てる

林業・木材産業県として大分県の多様な木材利用を推進

ICT技術等も含めた森林づくり技術を幅広く発信



次代につながる森林づくり

次代の森林づくりを担う子どもたちの育成

県民がより森林に触れ親しみ、森林を育む機会の提供

緑豊かな森林を未来につなぐため、県民全員が考え、行動できる合言葉の作成



森林・林業県おおいたをPR

大分の豊かな森林・林業を全国にPR

大分の素晴らしい農林水産物を全国にPR

豊かな自然や文化遺産など、大分が誇る地域資源を全国にPR



「第45回全国育樹祭」の開催を契機に

- 子どもたちに大分の魅力ある森林・林業に興味・関心を持ってもらい、担い支える人材へと育成します。
- 木を伐って使い・植えて育てる森林づくりの環を、県民総参加で広げます。

4 大会テーマ

豊かなおおいた ^{もり}森林を育み 木と暮らし

- 作者 ^{たかむら}高村 ^{みき}美紀（大分県大分市在住）
- 講評 豊かな森林を愛情を持って育て、恵みである木材を使って暮らすことで森林資源循環の大切さが表現されています。

5 シンボルマーク



- 作者 ^{とみなが}冨永 ^{あすか}明日香（長崎県西海市在住）
- 講評 笑顔で親しみやすい表情と新芽を守る力強い手から、森林をあたたく見守り、育んでいこうとする想いが伝わってきます。
また、新芽から森林へとの循環の輪が表現されており、未来へつながり大切さが見える作品です。

6 大会ポスター（原画）

募集中
※令和3年決定予定

7 開催概要

(1) 全国育樹祭行事

- ア 主催 : 公益社団法人国土緑化推進機構、大分県
- イ 開催時期 : 2022年(令和4年)秋季
※開催期日の決定: 2022年(令和4年)1月(予定)
- ウ 参加人数 : 約5,000人
- エ 内容 : ○皇族殿下によるお手入れ行事
○式典行事
・皇族殿下のおことば
・緑化功労者等の表彰
・緑の少年団活動の発表
・メインテーマアトラクション
・大会宣言など
○参加者による育樹行事
- オ 開催場所 : ○お手入れ行事
・大分県県民の森 平成森林公園(豊後大野市)
○式典行事
・昭和電工武道スポーツセンター(大分市)

(2) 併催行事(公益社団法人国土緑化推進機構と大分県の共催)

- ア 育林交流集会
- イ 全国緑の少年団活動発表大会

(3) 記念行事(大分県等の主催又は共催)

- ア 森林・林業・環境機械展示実演会
- イ その他の記念行事
・「国民参加の森林づくり」シンポジウム 2021年(令和3年 秋季)
・大分県緑の少年団交流大会 2022年(令和4年1月予定)
- ウ 育樹行事

8 開催場所詳細



豊後大野市



大分市



1 運営体制

(1) 実行委員会の設立

県内の関係機関及び団体等が一体となって、全国育樹祭の開催に向けた準備を万全なものとするため、令和2年度に「第45回全国育樹祭大分県実行委員会（以下「実行委員会」という。）を設置します。

(2) 実施本部の設置

全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するために、令和4年度に「第45回全国育樹祭大分県実施本部（以下「実施本部」という。）を設置します。

(3) 緊急対応

荒天時における式典等の実施判断や非常事態等に緊急対応するための体制を整備します。

2 輸送計画

(1) 輸送日程

第45回全国育樹祭のお手入れ行事当日（併催行事開催）と、式典当日の2日間を基本とします。

(2) 輸送計画

参加者の安全な移動のための借り上げ車両を基本に策定します。

(3) 駐車場計画

参加者の円滑な輸送を行うため会場周辺及び近隣市町村施設において駐車場を確保します。

3 宿泊計画

(1) 宿泊対象者

宿泊対象者は、県外参加者とします。

(2) 宿泊期間

原則として、お手入れ行事前日から全国育樹祭式典当日までとします。

(3) 宿泊地

大分市内を中心に選定します。

4 視察

県外からの参加者に、大分県の豊かな森林や盛んな林業を知っていただくとともに、県内の自然環境、伝統文化、産物等を満喫できるような視察コースを設定し、おもてなしします。

(1) 視察コース

日帰り及び1泊2日～2泊3日のコースを設定します。

(2) 受け入れ体制

宿泊、輸送、昼食等、視察に必要な業務については、指定する民間事業者へ委託します。

5 警備・警護

大分県警察本部及び関係機関等との緊密な連携により、警備・警護に不備のないようにします。

6 救護・衛生

お手入れ会場、式典会場及び育樹会場における傷病者の救護に関する体制を整備するとともに、飲食等による事故の発生防止を図るための食品衛生やごみを処理し、尿処理等の環境衛生対策を取ります。

7 消防・防災

会場周辺に消防車等を配置し、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

8 参加者サービス

総合案内所、湯茶接待所等を設置し、参加者へのサービスに努めます。

9 物産等展示・販売

式典会場に「おもてなしコーナー」を設置し、大分県の特産品の展示・販売を行います。



▲「おもてなしコーナー」イメージ



▲第43回全国育樹祭（沖縄県）のおもてなしエリア

第2章 運営計画

10 記念品等

全国育樹祭への参加を記念し、大分県らしい記念品を贈呈します。
会場で使用する物品等を配布するほか、パンフレットなどを配布します。



▲第43回全国育樹祭（沖縄県）の式典参加者配布用品等

11 昼食

大分県産の農林水産物を使用した、大分県の味覚を満喫できるメニューを検討します。
弁当の製造から輸送、保管、配布に至るまで、徹底した衛生管理を行うとともに、容器や包装資材については、環境に配慮したものを使用します。



▲第43回全国育樹祭（沖縄県）の配布弁当

12 雨天・荒天時等対応計画

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、構成員の招集方法を定め、
荒天時等の開催可否を判断するための「判定会議（仮称）」を設置します。

行事名	天候	対応	説明
式典行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天 及び 荒天		屋内会場のため開催します。但し、台風が接近した場合等参加者の安全輸送に支障を来す恐れがある場合には、プログラムの変更や規模縮小、開催中止を状況に応じて判断します
お手入れ 行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		晴天時と同様に行事を開催します
	荒天	中止	屋外会場のため行事を中止します

※大規模な地震等の緊急事態が発生した場合は、大会を中止します。

第51回全国植樹祭(2000年(平成12年)開催)で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木(ブンゴボダイジュ、アカガシ、ボタンザクラ、ブンゴウメ、カツラ、ケヤキ)を、皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に広めます。

1 会場の概要

(1) 会場

大分県県民の森 平成森林公園 (豊後大野市大野町藤北3053)



大分県県民の森は、大分市から豊後大野市にかけて4472haの森林地帯に施設が建設されています。県民の森には、会場となる平成森林公園のほか、青少年の森・神角寺展望の丘などがあり、県民が生きた自然と直接ふれあう場を提供しています。

平成12年「第51回全国植樹祭」に天皇皇后両陛下お手植えされた樹木の周辺は全国植樹祭記念広場となっています。

《整備経過》

昭和49年に事業着手した「大分県県民の森」の整備は、

第Ⅰ期 大分県県民の森基本計画(昭和46年度～昭和60年度)

：しあわせの丘・のびゆく丘・青少年の森地区の整備

第Ⅱ期 大分21世紀県民の森基本計画(昭和63年度～平成8年度)

：平成森林公園・神角寺展望の丘の整備

第Ⅲ期 大分県県民の森整備基本構想(平成8年度～平成13年度)

：全国植樹祭関連施設及び記念施設の整備

に区分され、平成13年度末にその全容が完成した。その後、平成15・17年に青少年の森森林学習展示館の改修が行われたほか、現在は管理事務所周辺施設を含む青少年の森・平成森林公園・神角寺展望の丘の3ゾーンとなっている。

(2) お手植え樹木の状況



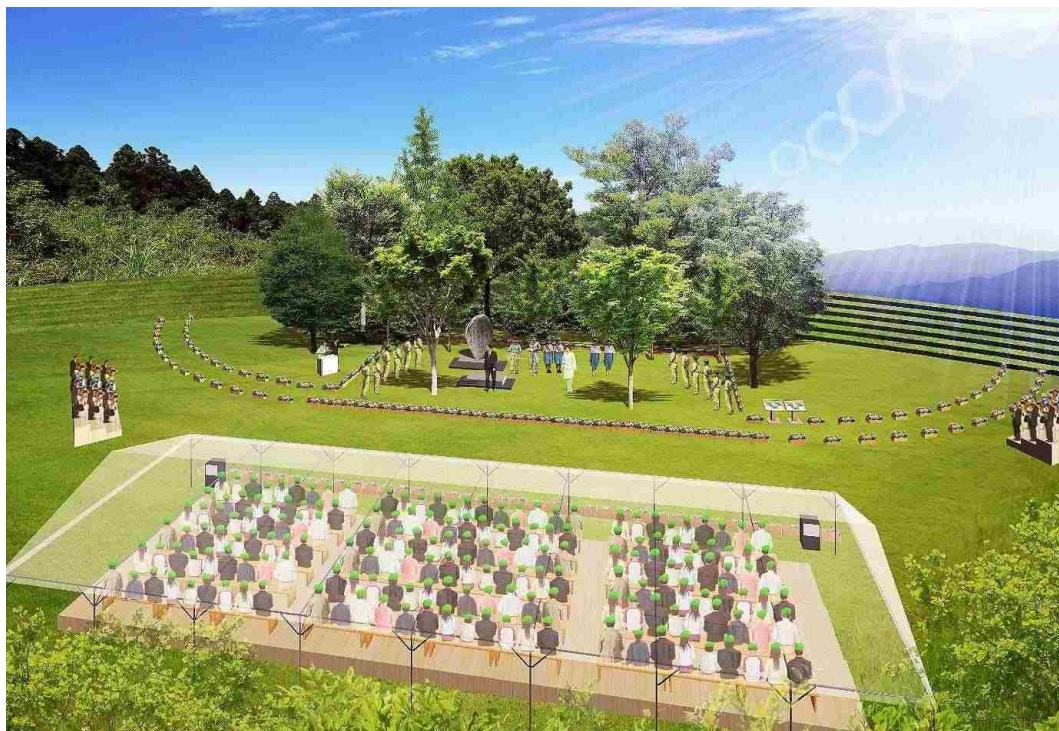
2 会場整備・設営

(1) 会場整備

会場となる大分県県民の森 平成森林公園で、円滑な運営に必要な整備を行います。

(2) 会場設営

開催年度に、第51回全国植樹祭の説明パネル、参加者席、テントなどの仮設物の設置を行います。



▲お手入れ会場イメージ

3 行事参加者

行事では、大会会長(参議院議長)など特別招待者や介添えを行う緑の少年団員、公募による参加者など約300人が参加し、会場内の樹木の手入れを行います。

4 行事の概要

(1) 皇族殿下のお手入れ会場御着

大会会長(参議院議長)、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、大分県知事などによりお出迎えします。

(2) パネル展示などの御覧

皇族殿下に第51回全国植樹祭の様子及びお手植え木の育成状況などを大分県知事が御説明します。

(3) お手入れ

皇族殿下により、天皇皇后両陛下のお手植え木に施肥などのお手入れがされます。

(4) 皇族殿下お手入れ会場御発



▲秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れ
※第43回全国育樹祭(沖縄県)



▲秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ
※第43回全国育樹祭(沖縄県)

全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマを象徴的に表現し、森林・林業県おもしろい緑の祭典となるよう演出します。

1 会場の概要

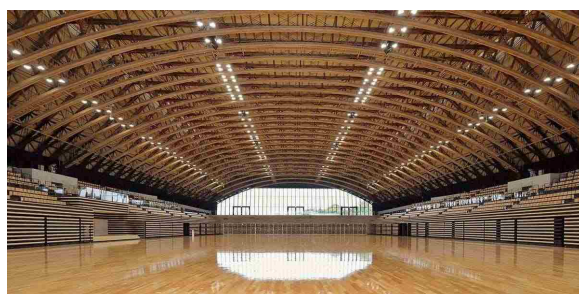
(1) 会場

昭和電工武道スポーツセンター（大分市大字横尾1351番地）

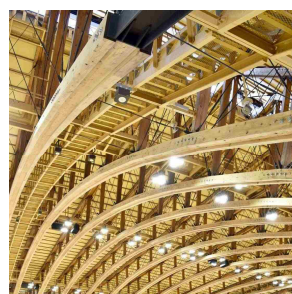


昭和電工武道スポーツセンターは、大分県スポーツ公園内に位置し、メイン競技場と武道場の2つの大屋根によって構成されており、武道をはじめとする室内スポーツの拠点となっています。シャープで日本刀をイメージさせる大屋根の形態は、隣接する昭和電工ドーム大分のスケールに呼応するとともに、武道の伝統・精神性と現代スポーツのもつダイナミズムとスピード感を表現しています。大屋根の架構は大分県産杉製材によるトラスでメイン競技場及び武道場ともに連続するダイナミックな形態となっています。

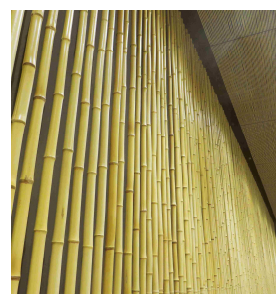
メイン競技場はハンドボール2面、バレーボール5面、バスケットボール4面、柔道8面、剣道8面の同時開催可能であり、武道場は3つの道場を直列に配置した構成となります。“交流の土間”とよばれるエントランスホールは、壁・天井を別府竹細工の竹ルーバーとし、家具についても七島蘭畳の椅子とMDFで作成した机を配置しており、大分の県立施設にふさわしいエントランスとなっています。2019年ラグビーワールドカップにて昭和電工ドーム大分とともに使用された施設でもあります。



▲メイン競技場



▲屋根構造



▲竹ルーバー

2 会場設営

式典会場の整備・設営にあたっては、必要最小限の整備等で効果的な演出が得られるよう目指すとともに、周囲の景観・環境に十分配慮し、安全で快適な会場づくりに努めます。

(1) 会場整備

式典会場は、昭和電工武道スポーツセンターを使用します。

(2) 会場設営

開催年度に必要な仮設物の設営などを行います。

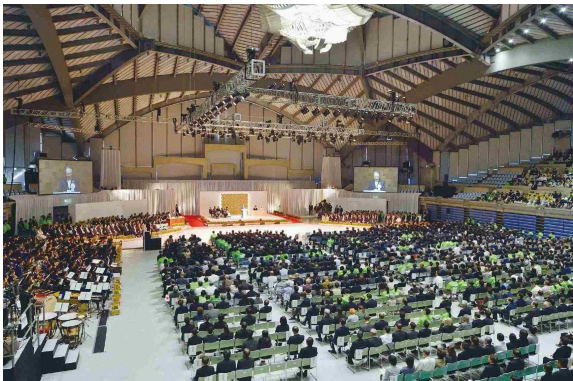
なお、式典会場の設営にあたっては可能な限り県産木材を使用します。

ア 主な仮設計画

御席、参加者席、装飾などを設営します。また、音響装置、照明装置などを設置します。

イ 会場装飾計画

参加者を歓迎するため、花の木製プランター等で式典会場及び周辺を装飾します。



▲第43回全国育樹祭（沖縄県）



▲第42回全国育樹祭（東京都）
※平成30年全国育樹祭：東京都HPより

3 式典参加者

(1) 式典参加者の選考方針

全国育樹祭の開催を契機に、国土緑化運動の継続的な推進と、大分県民総参加の森林づくりと一層の緑化推進を図るため、林業関係者をはじめ、次代を担う青少年、森林づくり活動に取り組む企業、団体、ボランティア、一般公募の参加者等、幅広い参加を求めます。

(2) 参加者の区分、人数、内訳

区分	人数	備考
参加者 総数	県外参加者 約1,500人	公益社団法人国土緑化推進機構理事長と大分県知事との協議による者
		各都道府県知事の推薦による者
	県内参加者 約2,000人	実行委員会会長の選考による者
		市町村長の推薦による者
		一般公募(実行委員会会長の選考)
	出演者・協力員等 約1,500人	出演団体(緑の少年団など)
式典音楽隊(吹奏楽、合唱など)		
協力員(運営スタッフ)・実施本部員		
合計	約5,000人	

4 式典行事の概要

(1) 基本構成

プロローグ、式典、エピローグの3部構成とします。

(2) 各構成

○プロローグ

式典開催前に、県内外からの多数の参加者への歓迎の意を込めたアトラクションを森林・林業県おおいたらしい企画で実施します。

○式典 《皇族殿下御臨席》

音楽演奏により演出効果を高めるとともに、森林・林業県おおいたらしさを表現したメインテーマアトラクションを実施します。

○エピローグ

式典のフィナーレを飾るにふさわしいアトラクションを実施します。

第4章 式典行事計画

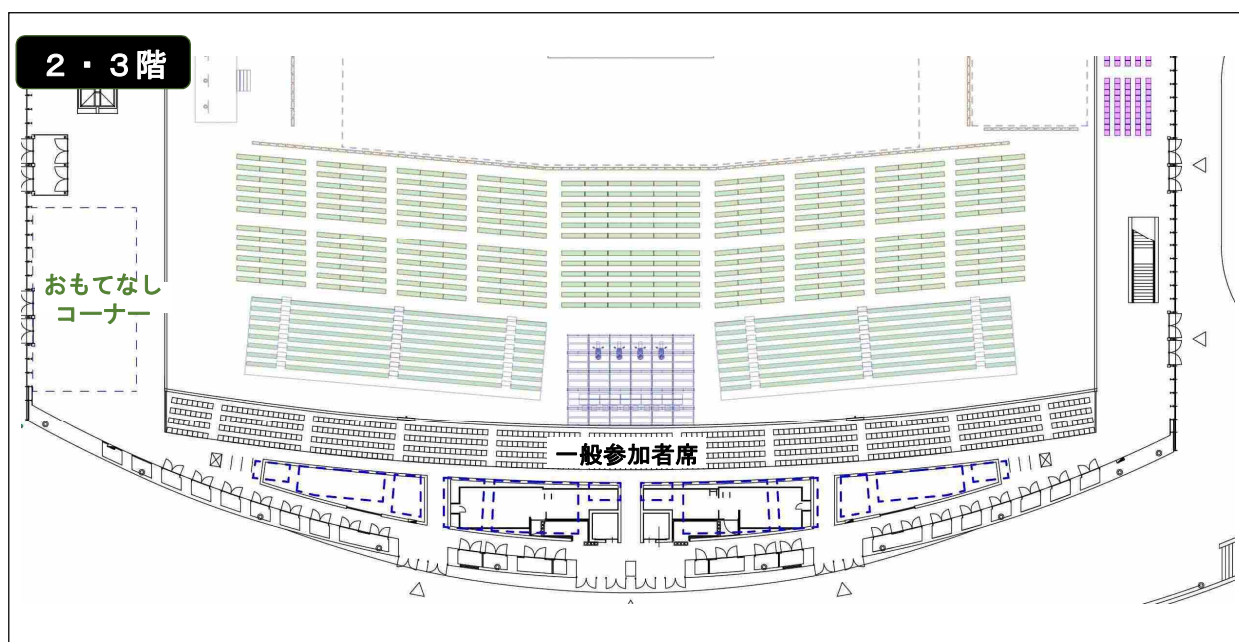
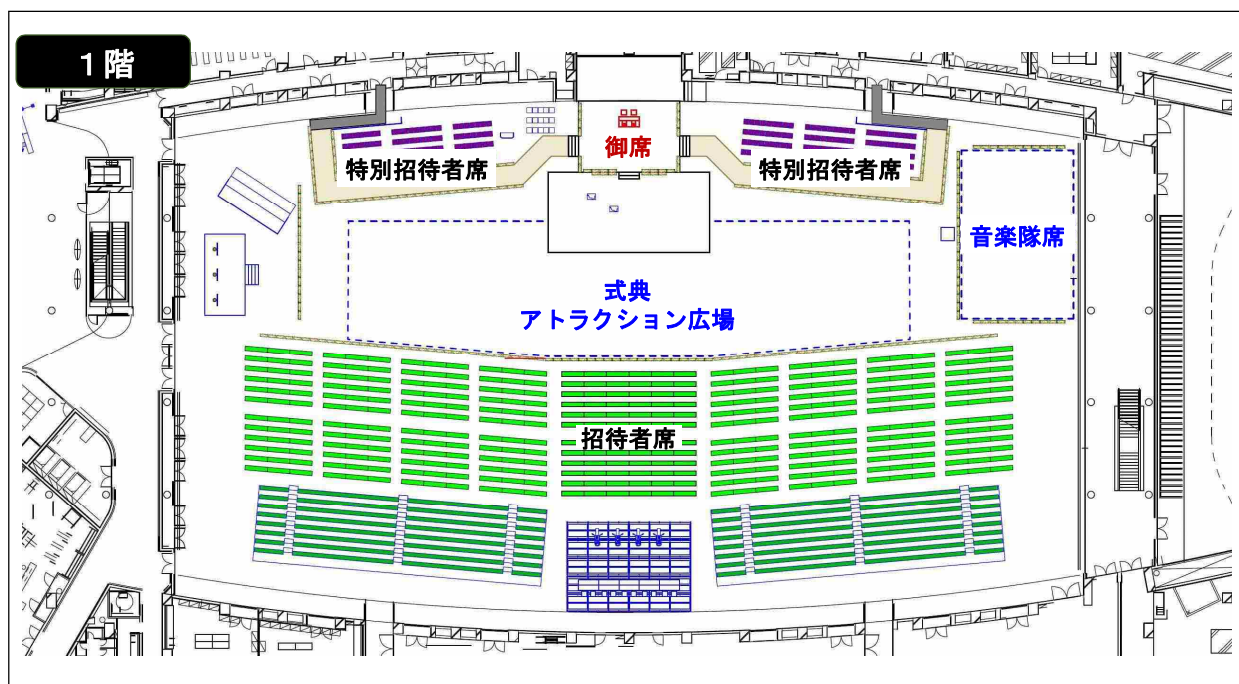
(3) 式典行事次第

項 目		説 明
1 プロローグ		
(1)	オープニングアトラクション	歓迎の意を込めたアトラクションを企画
(2)	お手入れ行事（前日）紹介映像	式典前日に開催したお手入れ行事の様子を紹介
(3)	大分県紹介映像	育樹等行事など含めて大分県を紹介
2 式典 [皇族殿下御臨席]		
(1)	皇族殿下御着	大分県知事の先導
(2)	開会のことば	国土緑化推進機構 副理事長
(3)	三旗入場・緑の少年団入場	
(4)	国歌斉唱・三旗掲揚	
(5)	主催者挨拶	大会会長（参議院議長）、大分県知事
(6)	歓迎のことば	大分県議会議長
(7)	皇族殿下のおことば	
(8)	表彰	緑化功労者等に感謝状を贈呈
(9)	緑の贈呈	全国緑の少年団に記念品を贈呈
(10)	緑の少年団活動発表	全国緑の少年団を代表しての活動発表
(11)	メインアトラクション	参加者の記憶に残る大分県らしいアトラクションを企画
(12)	大会宣言	国土緑化推進機構 理事長
(13)	次期開催県あいさつ	茨城県
(14)	閉会のことば	大分市長
(15)	皇族殿下御発	
3 エピローグ		
(1)	エンディングアトラクション	感謝の意を込めたアトラクションを企画

第4章 式典行事計画

5 会場計画図

※令和2年2月時点イメージ



座席内訳	
区分	席数
特別招待者（1階）	400席
招待者（1階）	2,300席
一般参加者（2・3階）	1,000席
合計	3,700席

1 育林交流集会

大分県内外の林業関係者はもとより、森林づくり活動に参加する企業、団体、大学、ボランティアや一般参加者など、各界・各層からの幅広い参加者のもとで、森林への関心を高め、森林づくり活動が拡大する契機となるよう、これからの森林づくりについて基調講演、パネルディスカッションなどを行います。

- 主催 : 公益社団法人国土緑化推進機構、大分県
- 開催日 : 式典行事の前日
- 開催場所 : 大分県内(未定)
- 参加人数 : 約300人



▲第43回全国育樹祭(沖縄県)

2 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団と大分県内の緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さ、緑を守る活動を知るため、日頃の活動成果や地域の特色ある活動について発表を行います。

また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

- 主催 : 公益社団法人国土緑化推進機構、大分県
- 開催日 : 式典行事の前日
- 内容 :
 - ①活動発表大会
 - ・開催場所 大分県内(未定)
 - ・参加人数 約300人
 - ②交流集会
 - ・開催場所 大分県内(未定)
 - ・参加人数 約150人



▲第43回全国育樹祭(沖縄県)

1 記念行事

(1) 森林・林業・環境機械展示実演会

森林・林業・環境機械の安全使用と機械化による施業の効率化を関係者に一層普及するとともに、一般参加者の関心・理解を高め、担い手を育成する契機とするため、最新の林業機械を中心とした展示・実演を行います。

- 主催 : 大分県、一般社団法人林業機械化協会
- 開催日 : 式典行事の当日及び翌日
- 開催場所 : 大分県内（未定）
- 参加人数 : 約14,000人
- 行事内容 : 高性能林業機械等の展示実演等



▲第43回全国育樹祭（沖縄県）

(2) その他の記念行事

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや木とのふれあいを進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を大分県内で開催します。

ア 「国民参加の森林づくり」シンポジウム

- 主催 : 大分県、公益財団法人森林文化協会、朝日新聞社、
公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催時期 : 令和3年 秋季
- 開催場所 : 大分県内（未定）
- 参加人数 : 約300人
- 行事内容 : 基調講演、シンポジウム等

イ 大分県緑の少年団交流大会

- 主催 : 大分県、大分県みどりの少年団育成連絡協議会
- 開催時期 : 令和4年1月予定
- 開催場所 : 大分県内（未定）
- 参加人数 : 約300人
- 行事内容 : 県内緑の少年団による活動発表、特別講演等

ウ 育樹行事

- 開催場所 : 大分県内（未定）
- 行事内容 : 県内各地で施肥等の育樹活動

1 懇談会（歓迎レセプション）

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して懇談会（歓迎レセプション）を開催します。

- 主 催 : 大分県
- 開 催 日 : 式典行事の前日
- 開催場所 : 大分県内ホテル（未定）
- 参加人数 : 約300人



▲第43回全国育樹祭（沖縄県）

2 広報・協賛等

（1）広報

全国育樹祭を広く県内外に知らせるとともに、開催への機運を高めるため、効果的な広報を積極的に行います。

- ア 公募により決定した「大会テーマ」「シンボルマーク」「ポスター原画」を効果的に活用します。
- イ 報道関係、業界紙、広報誌、インターネットなどを活用した情報発信を積極的に行います。
- ウ 各種広報物品（リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど）を制作し、関係機関などに配布します。

（2）記録

全国育樹祭の開催記録を保存するために、記録誌やDVDを制作します。

（3）協賛

全国育樹祭の開催に賛同する企業・団体などを対象に、資金や物品、役務の提供、広報PRへ協力などの協賛参加者を広く募集します。

第45回全国育樹祭 基本計画

令和2年3月発行

編集・発行：大分県農林水産部 森との共生推進室 全国育樹祭準備班

大分県大分市大手町3丁目1番1号 県庁舎8階

電話：097-506-3872